

週日の説教

金 大烈 神父 2011年3月4日(金)

《信じる心》

—世界祈禱日の祈りがあったため、夕ミサにて—

こんばんは

今日の福音(マルコ 11・11-26)は、皆様が迷われるのではないかと思いますので、先に説明させていただきます。季節ではないので実が実っていない、いちじくの木を、何故イエス様は呪われたのでしょうか。その後、神殿の境内で物を売っている人々に、激しく腹を立てられたことは、私達もある程度納得が出来ます。いつも愛を求められる方が、そのように腹を立ててもいいのかと思うくらい本当に激しく、鞭を作って商売人を追い出す姿がありますが、それも理解し納得が出来ます。イエス様は「神様の家を強盗の巣にした」と言って叱ったわけです。私はここに出てくる『わたしの家は、すべての国の人の祈りの家』という言葉で、うちの教会もそうではないかという思いが浮かびました。

とにかく、イエス様が神殿を汚すあらゆる人々に腹を立てられたのは、十分に納得が出来ます。しかし何故、いちじくの木を呪われて、枯れてしまうことをなされたのでしょうか。これは、どんなに優れた霊性学者達も答えは探せませんでした。ただこれは、この福音の箇所が一番最後の箇所を支えるために作られた、作り話しではないかと聖書学者達は推測しています。最後には何がありますか？

ペトロが「先生、いちじくの木が枯れてしまいました。」とイエス様に言いますね。そこでイエス様は答えて言われます。『神を信じなさい。はっきり言うておく。だれもこの山に向かい、「立ち上がって、海に飛び込め」と言い、少しも疑わず、自分の言うとおりにになると信じるならば、そのとおりになる。』この言葉をもっと強調したかったのではないかと。神様は何でも出来ることを示したかった。宣教するために、イエス様の御心を伝えるために、聖書を作るために集まった人々の心が表されたところではないかと、慎重に言っています。

皆様が聖書を読む時に、あまりにも文脈的に合わない話だと思われる時には、それはそのまま受け取って下さい。これはイエス様の御心ではないだろうと思われたら、大体が皆様の考えが正しいでしょう。なぜならイエス様は私達の心の常識を崩されない方だと思います。そう思えば、ある程度理解が出来ると思います。これを無理矢理に色んな解釈をする人々がいます。そして「イエス様は呪われたのだから、私達が間違えたらはっきり罰を受けなければならない。」とか、「イエス様がこのように腹を立てたから私も腹を立ててもいい。」とか、かつてに解釈してしまう場合もあります。いつか私が神様に会ったら「私の話しが本当でしょう。」と聞いてみますから。(笑)

さあ、今日の話に入りましょう。すでに私が神学生の時に亡くなられた方です。

その人は崔 玟順 (Che Min Sun) という司祭です。この方は数多くの美しい行と詩を書かれた方です。そしてその行の通りに、詩の通りに自分の人生を歩まれ、神様の所に逝かれた方です。私自身が、今

まで何か難しいことにぶつかった時に、乗り越えられる力として覚えた詩があります。癒しのミサに与る皆様に必要な言葉ではないかと思って訳してみました。その方がおっしゃった一つ一つの言葉のニュアンスは私が活かせないと思います。しかし、その内容に皆様が一緒に耳を傾けていただきたいのです。

イエス様、今日、自分の道で

崔 玟順

イエス様、今日も私が行くこの道で

険しい山が移られるように祈りはしません。

ただ、私にその険しい峠を

乗り越えられる力をお与えください。

イエス様、今日も私が行くこの道で

ぶつかる石が自ら転がって去るのを望みません。

その躓かせる石を

むしろ踏み石にする力をお与えください。

イエス様、今日も私が行くこの道で

広くて平らな道を望んではいません。

ただ、狭くて険しい道でも

あなたと一緒にいけるように

信じる心をお与えください。

短くて簡単な詩ですが、この内容は自分にとっては本当に力になります。何か困難な難しさに出会った時、この困難がなくなるように望み願うのが大体の私達の心でしょう。しかし、私達が永遠の命を頭に置いて、そして、イエス様が見せて下さったその真理を心に置いて、本当に自分が乗り越えなければならないものが何であるかを意識しなければならないと思います。

最後まで、私達が求めなければならない癒しは、結局、「何事があってもあなたに信頼を置きます。」という強い信仰ではないかと思います。その信仰に変わるものは何もないと思います。「あなたが共にいるならば、私は何でもできます。」という深く強い心が必要ではないかと思います。

皆様、いつもこの癒しのミサで申し上げて来たのですが、癒されても体はまた壊れる時があります。これは変わらない真理でしょう。私達は生かされて保たれながら、最後まで持っていけるのはこの心です。心から信じる信仰じゃないかと思います。

さあ、これから病者の秘跡を受けます。与る人々も横で祈る方々も心をこめて、私達は「あなたと共にします。」という祈りだけなさって下さい。

ありがとうございました。